

I C Tモデル導入の検討

自治会を支援する会・西須磨

自治会を支援する会・西須磨は、「2021 年度・2022 年度活動に向けての企画検討書」の中で「I C Tモデルの導入を検討する」を掲げました。

2. I C Tモデルの導入を検討する
- 2.1. 「タダカヨ」モデルから学ぶ
- 2.2. 「結ネット」モデルから学ぶ
- 2.3. その他のモデルも検討する
- 2.4. 情報伝達をプル型からプッシュ型に拡大する

以下に、この1年間の調査結果と、各々について「自治会を支援する会・西須磨としてどのようにかかわるか」を考察します。

【目次】

1. 「タダカヨ」モデルから学ぶ

- 1.1. 「タダカヨ」とは
- 1.2. 5つのI C T活用マニュアル
- 1.3. 自治会を支援する会・西須磨としてどのようにかかわるか

2. 「結ネット」モデルから学ぶ

- 2.1. 結ネットとは
- 2.2. 結ネットの活用事例
- 2.3. 自治会を支援する会・西須磨としてどのようにかかわるか

3. その他のモデルも検討する

3.1. 総務省の動き 「地方行政のデジタル化」

- 3.1.1. 「地方行政のデジタル化」とは
- 3.1.2. 「地方行政のデジタル化」の対象と自治会の位置づけ
- 3.1.3. I C T地域活性化事例 100 選
- 3.1.4. 自治会を支援する会・西須磨としてどのようにかかわるか

3.2. 神戸市の動き

- 3.2.1. 神戸市の動き（その1）「KOBE スマートシティ推進コンソーシアム」
- 3.2.1.1. 「KOBE スマートシティ推進コンソーシアム」とは

- 3.2.1.2. 設立総会
- 3.2.1.3. 自治会を支援する会・西須磨としてどのようにかわるか

3.2.2. 神戸市の動き（その2）「スマート神戸」

- 3.2.2.1. 「スマート神戸」とは
- 3.2.2.2. 自治会を支援する会・西須磨としてどのようにかわるか

3.2.3. 神戸市の動き（その3）「地域 ICT 推進協議会（通称：COPLI）」

- 3.2.3.1. 「地域 ICT 推進協議会（通称：COPLI）」とは
- 3.2.3.2. 4つの活動
- 3.2.3.3. 自治会を支援する会・西須磨としてどのようにかわるか

3.2.4. 神戸市の動き（その4）ご近所 SNS 掲示板「マチマチ」

- 3.2.4.1. ご近所 SNS 掲示板「マチマチ」とは
- 3.2.4.2. 自治会を支援する会・西須磨としてどのようにかわるか

4. 情報伝達をプル型からプッシュ型に拡大する

1. 「タダカヨ」モデルから学ぶ

1.1. 「タダカヨ」とは

NPO法人タダカヨは、「ITを上手に使って、お金をかけずにより良い介護へ」のVISIONの元、介護業界のIT活用を支援するNPO法人です。

「人手不足で現場が回らない」、「社会保障費の著しい増加」という2つの問題を“同時に”解決していく為に、「無料もしくは低コストのITを使って、お金をかけずに介護をより良くする活動」を行っています。



<https://mmky310.info/about/>

1.2. 5つのICT活用マニュアル

タダカヨは、5つのICT活用マニュアルを無料提供しています。

- ① オンライン面会マニュアル
- ② 介護従事者向けLINE WORKS マニュアル
- ③ ランラインサービス担当者会議サポート資料集
- ④ 介護従事者向けZoom マニュアル
- ⑤ オンライン面会マニュアル (WEB版)

<https://mmky310.info/> の「ICT活用マニュアル」

利用しているのは、LINE、LINE WORKS、Zoomです。

1.3. 自治会を支援する会・西須磨としてどのようにかわるか

LINE WORKSにはチャット機能やビデオ・音声通話機能はもちろん、スケジュール管理や画面共有などの便利な機能も備わっています。

また、LINEよりさらに進化した既読機能が利用可能です。進化した既読機能とは、トークルームで既読表示されるだけでなく、既読した人は既読メンバーに追加されることです。既読していない人がひと目でわかるので、伝達漏れを防ぐことができます。

また、LINE WORKSには便利なBot API機能というものがあります。これは、複雑な社内システムが面倒で、効率が悪いと思っている人におすすめの機能です。

<https://businesschatmaster.com/lineworks/lineworks-line-chigai>

自治会を支援する会・西須磨としては、LINE WORKSを自治会運営に活用できないかを今後、検討したいと思っています。目指すのは、タダカヨのVISIONの「介護」を自治会

に置き換えたものです。

すなわち、「ITを上手に使って、お金をかけずにより良い自治会へ」、「無料もしくは低コストのITを使って、お金をかけずに自治会をより良くする活動」をしようとしています。

2. 「結ネット」モデルから学ぶ

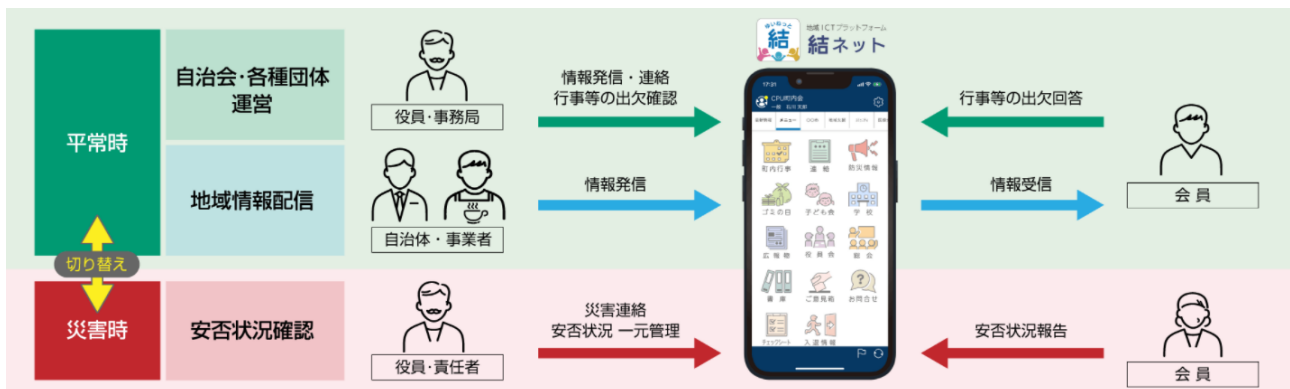
2.1. 結ネットとは

自治会・地域組織の課題を解決するための地域ICTプラットフォームサービスです。

「結ネット（ゆいねっと）」は、地域運営組織や各種団体において、平常時は地域の電子回覧板や自治体・事務局・店舗からの情報受発信ツールとして利用し、災害時には安否確認システムとして活用できるアプリです。

「クラウド型町内会運営システム」、「地域事業者リアルタイム情報発信システム」、「災害時の安否確認システム」の3システムを統合したクラウド型ポータルサービスです。

<https://www.cpu-net.co.jp/product/yui-net/>



2.2. 結ネットの活用事例

結ネットの8つの事例が紹介されています。

<https://www.cpu-net.co.jp/product/yui-net/yui-voice.html>

結ネットは、「スマホ・タブレット」「ガラケー（フィーチャーフォン）」「パソコン」のいずれでも使えます（ただし、ガラケーは、閲覧のみで、発信はできません）。逆に言うと、いずれかがないと使えません。自治会会員全員を対象とするのは、現実的でないと思います。

実際、表「結ネットの事例紹介」に示すように、丸木町会は「役員等の連絡用」として、金沢市町会連合会は「市及び市町会連合会と地区町会連合会の役員との連絡網」として、石川県野々市市は「連合町内会を中心」として、石川県小松市は「市と全町内会の連絡ツール」として、石川県金沢市米泉校区は「全町内会、全団体の連絡ツール」として、導入しました。

住民への普及については、レイクガーデン自治会は「既存の連絡手段と併用。導入から1年足らずで稼働率90%超え、一気にデジタル化の推進を実現」、金沢市町会連合会は「市民にも一斉配信を実施」、サーパス桜田町一番館管理組合は「全居住者への設備点検連絡など」、石川県金沢市田上校区 太陽が丘ゆうひみ町会は「比較的若い世代が多いこと

もあり、さまざまな用途で活用している」。

また、表「画面構成」によれば、「トップメニュー」としては「最新情報」「メニュー」「市や地区の情報」「システムサポート」を設けています。また、「メニューでの選択アイコン」としては「連絡事項」「広報配布物」「書庫」「問い合わせ」「防災情報」「町内行事」「役員会」「こども会」などを設けています。

2.3. 自治会を支援する会・西須磨としてどのようにかわるか

市や区と自治会を結ぶシステムについては、考える立場にありません。自治会間を結ぶシステムは、西須磨地域では需要がないでしょう。自治会内にこのシステムを導入するのは、利用できる人が少ない、費用がかかるということで、賛成は得られないでしょう。

結ネット導入の価格としては、「初回到初期設定費用が必要で、月次基本料金・利用料金が必要となります。但し、組織構成や世帯数規模により変わるため、個別にお知らせしていますのでお気軽に ご相談ください。」とのこと。

<https://shien-yuinet.jp/shien/yuinet.html>

具体的には、「 「地域 ICT プラットフォームサービス～結ネットは、1 世帯あたり月 400 円～100 円(※1)から始められる自治会運営専用（電子回覧板機能）に開発されたアプリです。（※1）別途、初期費用等がかかり利用金額は契約内容や契約年数、利用世帯数により変わります。一度ご相談ください。」とあります。

<https://www.43lab.net/#:~:text=%E5%9C%B0%E5%9F%9FICT%E3%83%97%E3%83%A9%E3%83%83%E3%83%88%E3%83%95%E3%82%A9%E3%83%BC%E3%83%A0%E3%82%B5%E3%83%BC%E3%83%93%E3%82%B9%EF%BD%9E%E7%B5%90%E3%83%8D%E3%83%83%E3%83%88%E3%81%AF%E3%80%811%E4%B8%96%E5%B8%AF,%E9%96%8B%E7%99%BA%E3%81%95%E3%82%8C%E3%81%9F%E3%82%A2%E3%83%97%E3%83%AA%E3%81%A7%E3%81%99%E3%80%82>

自治会を支援する会・西須磨は、現在、ホームページ (<https://24suma.net/>) を運営して、西須磨に住んでいる方々に役立ちそうな情報を日々発信していますが、そこには魅力を感じてネットは持っています。例えば、

- ① プッシュ機能がある（ホームページは、読みに来てくれないと、読まれない）
- ② スマホから見やすい（ホームページは、スマホからも見られるが、パソコン向き）
- ③ 参加者から発信しやすく、人と人を結びつける（ホームページは一方方向）

現在のホームページを補完するシステムを試作したい。それは、結いネットのような大掛かりなものではなく、スマホを主対象とし、手作りのアプリを導入したシステムです。

例えば、ホームページでは、子育て用の記事が結構あるが、他の記事もあります。見逃さないようにするためには頻りにチェックしなければならないが、登録してた分野に関する知らせが行くようにしておけば（Push 機能）、読者が増えることを期待できます。

結ネットでは、「トップメニュー」と「メニューでの選択アイコン」の二つのタップで、見たいサイトに近づけます。WordPress でつくったホームページとは、感覚が違います。今の若者の多くは、パソコンではなく、スマホを常用しているようです。若者の感覚に近づけるのに、表「画面構成」が役立ちます。

オンラインでできたつながりを、リアルなつながりにつなげることにより、つながりがより強固になると期待されます。PC 向けホームページではなく、スマホをベースとしたシステムでその可能性が高まると考えます。

結ネットの事例紹介

導入	主目的	特徴	備考
(1) 丸木町会様	迅速な情報発信で住民と便利さも共有	<ul style="list-style-type: none"> 既読確認による高齢者見守り安心・安全の街づくりへ 防災訓練で短時間で安否確認を完了 	約 920 世帯。行事案内や結果報告、緊急連絡など、これまで電話や回覧板に頼り、役員や班長に負担が掛かっていました。「結ネット」は役員等の連絡用として導入しましたが、多くの情報を一斉伝達できることを実感し、住民にも展開しました。
(2) レイクガーデン自治会様	現状と将来の課題解決につなげる	<ul style="list-style-type: none"> 役員のなり手不足の危機感とコロナ禍での住民の不安を払拭 自治体の地域デジタル推進の助成金を活用 	約 80 世帯。既存の連絡手段と「結ネット」を併用。回覧の負担が半減し、情報伝達の時差を解消。役員の作業も軽減され、導入から1年足らずで稼働率90%超え、一気にデジタル化の推進を実現。新しい防災訓練として災害モードも活用しています。
(3) 金沢市町会連合会様	自治体から市民にも一斉配信を実施	<ul style="list-style-type: none"> 金沢市と金沢市町会連合会、シーピーユーと三者協定を締結 自治体からも市民に情報の一斉発信を実施 	市及び市町会連合会と全市62の校下地区町会連合会の役員との連絡網として利用し、迅速且つ確実な情報伝達に貢献しています。市民にも一斉配信を実施しています。 / 市民の何パーセントが受信しているか、不明
(4) サーパス桜田町一番館管理組合様	自治会の事例がヒントに、省力化に貢献	<ul style="list-style-type: none"> ペーパーレス化と省力化に貢献、さらに伝達力の向上 電磁的記録を実現し、今後は電磁的議決の導入を目指す 	私共のマンションでは分譲による居住組合員と賃貸入居者が混在しています。組合役員への理事会連絡や委託業務の報告、全居住者への設備点検連絡など。 / 「導入先の規模 約 100 ID」と書いているが、普及率は不明
(5) 石川県野々市市	連合町内会を中心とした「結ネット」の全市展開		1. 連合町内会長付属の運営組織を設立する。2. 町内会、こども会、PTA、商工会から40～50歳代の「次世代の市を担う人材」で構成。
(6) 石川県小松市	市と全町内会の連絡ツールとして「結ネット」を採用		市と全町内会の連絡ツール。全250の町会長と、その補佐役として各町3人までの同時受信可能な体制で運用を実施する。
(7) 石川県金沢市米泉校区	全町内会、全団体の連絡ツールとして「結ネット」を包括導入		全町内会、全団体の連絡ツール
(8) 石川県金沢市田上校区太陽が丘ゆうひみ町会	結ネットの導入率95%で、今後のペーパーレス化を目指し運用		世帯数 約200 比較的若い世代が多いこともあり、町会運営からイベント案内、緊急情報発信、そして青壮年部会や子ども会等の各部会運営とさまざまな用途で結ネットを活用している。
https://www.cpu-net.co.jp/product/yui-net/yui-voice.html			「/」より、前は引用、後ろはコメント。

画面構成

導入	トップメニュー		メニューでの選択アイコン			
(1) 丸木町会様	最新情報	市の情報	町内行事	いどばた会議	学校だより	回覧板
	メニュー	コミュニティ	連絡事項	ゴミ関連	作品展	資料室
	地区の情報	?	防災情報	こども会	アンケート	イベント結果
(2) レイクガーデン自治会様	最新情報	地域協賛店	自治会行事	連絡事項	役員会	自主防災部会
	メニュー	システム	回覧板	耳より情報	広報配布物	
	貝塚市情報		防災防犯情報	各種規約	総会関連	
(3) 金沢市町会連合会様	最新情報	システムサポート	市町連からのお知らせ	役員専用	市町会連合会HP	
	メニュー		市からのお知らせ	広報配布物	利用マニュアル	
	市の情報		防災情報	アンケート	市町連事務局直通	
(4) サーパス桜田町一番館管理組合様	最新情報	システムサポート	お知らせ	広報配布物	理事会	設備点検・清掃のお知らせ
	メニュー		重要通知	意見箱	通常・臨時総会	設備点検・清掃報告書
	市の情報		書庫	校下の情報	月次報告	
(5) 石川県野々市市	最新情報	市の情報	町内行事	こども会	書庫	問い合わせ
	メニュー	コミュニティ	連絡事項	ゴミの日	町内写真館	役員会
	地区の情報		防災情報	お役立ち情報	町内事業所	広報配布物
(6) 石川県小松市	最新情報	サポート	連絡事項	防災情報	正副会長会	お役立ち情報
	メニュー		町内会関係マニュアル	防災資料	理事会	
	小松市内感染状況		広報こまつ	新型コロナ関連情報	イベント案内	
(7) 石川県金沢市米泉校区	最新情報	市の情報	町内行事	こども会	体育部	問い合わせ
	メニュー		連絡事項	婦人部	役員会	
	校下の情報		防災情報	青壮年部	書庫	
(8) 石川県金沢市田上校区 太陽が丘ゆうひみ町会	最新情報		連絡事項	班への連絡	役員会	カレンダー
	メニュー		緊急情報	青壮年部	町内資料	問い合わせ
	市の情報		町内行事	こども部会	配布資料	

元データ

<https://www.cpu-net.co.jp/product/yui-net/yui-voice.html>

最新情報(8) メニュー(8) 市の情報(7)、地区の情報(2) システムサポート(2)、システム(1)、サポート(1) コミュニティ(2)	連絡事項(6)、お知らせ(2)、重要通知(1)、お役立ち情報(2)、耳より情報(1) 広報配布物(5)、回覧板(2) 書庫(3)、資料室(1)、町内資料(1)、配布資料(1)、マニュアル(2)、規約(1) 問い合わせ(3)、アンケート(2)、意見箱(1) 防災情報(5)、防災資料(1)、防災防犯情報(1)、緊急情報(1) 町内行事(4)、自治会行事(1)、イベント案内・結果(2) 理事会(2)、役員会(4)、役員専用(1)、正副会長(1)、総会(1) こども会・部会(4)、青壮年部(2)、婦人部(1)、体育部(1)、自主防災部会(1)
--	---

3. その他のモデルも検討する

自治会運営に関係しそうな、ICTに関係する行政の動きとして、総務省の「地方行政デジタル化」と神戸市の「Be Smart KOBE」を調査しました。

「Be Smart KOBE」では、「KOBE スマートシティ推進コンソーシアム」、「スマートこうべ」、「地域 ICT 推進協議会（通称：COPLI）」を調査しました。また、ご近所 SNS 掲示板「マチマチ」も調査しました。

3.1. 総務省の動き 「地方行政のデジタル化」

3.1.1. 「地方行政のデジタル化」とは

総務省が「地方行政のデジタル化」が進めており、「ICT 地域活性化ポータル」が公開されています。総務省では、政府が掲げるデジタル社会の目指すビジョンである「デジタルの活用により、一人ひとりのニーズに合ったサービスを選ぶことができ、多様な幸せが実現できる社会～誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化～」の実現に向け、住民の利便性向上や自治体の業務効率化などを目的とした、地方行政のデジタル化を推進する各種施策に取り組んでいます。

<https://www.soumu.go.jp/denshijiti/>

https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/top/local_support/ict/index.html

3.1.2. 「地方行政のデジタル化」の対象と自治会の位置づけ

「地方行政の」とありますので、デジタル化するのは、主として自治体あるいは地方行政団体ということになります。一方、目的としては、単に「自治体の業務効率化」だけでなく、「住民の利便性向上」も含まれています。「住民の利便性向上」と深くかかわる自治会も、無関係ではありません。

3.1.3. ICT地域活性化事例 100 選

施団体別(103)で見ると、自治体(49)、NPO(2)、民間企業(22)、その他(30)です。

自治体(49)、NPO(2)、民間企業(22)には、自治会が関係しそうなものはありませんでした。

その他(30)では、例えば、日常生活にかかわる（自治会活動にも関係する）ものとして、次のようなものがあります。

① 5374.jp（地域別ゴミ出し情報） <官民協同サービス>

https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/top/local_support/ict/jirei/2017_008.html

② AI を活用したチャットボット「イーオのごみ分別案内」 <スマートシティ>

https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/top/local_support/ict/jirei/2017_097.html

③ LINE を活用した“One to One”の情報配信 <スマートシティ>

https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/top/local_support/ict/jirei/2017_092.html

3.1.4. 自治会を支援する会・西須磨としてどのようにかわるか

このうち、①と②とは神戸市ではすでに進んでおり、自治会（住民）は、それを利用するだけです。我々の活動では、取り上げません。

一方、③も神戸市として着手しており、自治会（住民）は、それを利用することになります。ただ、この考え方は我々も採用し、システム開発する余地があります。後にコメントします。

3.2. 神戸市の動き

神戸市では、「Be Smart KOBE」を推進しています。これは「人間中心の目線で社会課題を解決する「Human×Smart」な都市づくりを目指し、市のスマートシティ化」を推進するものです。

<https://www.city.kobe.lg.jp/a05822/smartcity/datarenkeikiban.html>

その中から、「KOBE スマートシティ推進コンソーシアム」、「スマートこうべ」、「地域 ICT 推進協議会（通称：COPLI）」に注目し、自治会を支援する会・西須磨としてどのようにかわっていけばよいかを検討します。

また、神戸市が株式会社マチマチと協定を締結しているご近所 SNS 掲示板「マチマチ」についても、検討します。

3.2.1. 神戸市の動き（その1）「KOBE スマートシティ推進コンソーシアム」

3.2.1.1. 「KOBE スマートシティ推進コンソーシアム」とは

神戸市は、スマートシティの実現に向けて、市民・企業・行政・研究機関など様々な方々が参加し、市民が安心してデータを提供できる体制を整え、共創の場を通じて合意形成を図り、神戸市スマートシティにかかる様々なプロジェクトを推進していくための実行力強化を目的とし、「KOBE スマートシティ推進コンソーシアム」を設立しました。

<https://www.city.kobe.lg.jp/a05822/smartcity/konso-siamu.html>

「スマートシティ」では、ICT を活用して生活の質の向上や新たな価値創出による経済循環の促進、社会課題の解決を図ります。ICT とは「Information and Communication Technology」の略称で、日本語では「情報通信技術」と訳されます。

3.2.1.2. 設立総会

コンソーシアムの設立にあたり、3月10日に設立総会が実施されました。

<https://www.city.kobe.lg.jp/a05822/smartcity/konso-setsuritsusoukai.html>

自治会を支援する会・西須磨は、特別会員として登録し、オンラインで設立総会を聴取しました

「KOBE スマートシティ推進コンソーシアム 事業計画（令和4年度）」は、次の5項目からなります。

- ① スマートシティに向けた実証事業及び実装の推進
- ② スマートシティポータルサイト（スマートこうべ）・データ連携基盤の活用推進
- ③ 実証事業への市民参画の促進
- ④ 会員間の情報共有の推進

⑤ その他前各号に附帯又は関連する事業

<https://www.city.kobe.lg.jp/documents/51961/4jigyokeikaku.pdf>

3.2.1.3. 自治会を支援する会・西須磨としてどのようにかわるか

前出の事業計画では「③. 実証事業への市民参画の促進：KOBE スマートシティ推進コンソーシアムの活動について幅広く分かりやすい情報発信を行い、スマートシティの取り組みに対する市民の認知向上、プロジェクトへの市民参画の促進等に取り組めます。」があります。

「スマートシティは、市民中心」とは言っているものの、主として一方向の「情報発信」を行い、「市民の認知を向上」させ、「市民参画」を促進させようとしています。「上で作って、下々に使わせる」という発想です。これでは、市民の立場である自治会が入り込む余地がありません。

実際、役員や正会員は、名だたる企業が名を連ねています。彼らがインフラを整備する（＝事業に参画する＝儲ける）のが目的で、市民あるいは市民の立場にある自治会が参加する余地はなさそうです。

<https://www.city.kobe.lg.jp/documents/51961/2yakuinmeibo.pdf>

https://www.city.kobe.lg.jp/documents/51961/3kaiinichiran_r40310jiten.pdf

ただ、このコンソーシアムで検討が進んだ段階で、「市民の意見を聞きたい」といったところまで進んだ時点で、必要なら意見を表明したいと考えています。

総会后、「正会員や準会員になるのは辞退する」と連絡しました。

3.2.2. 神戸市の動き（その2）「スマート神戸」

3.2.2.1. 「スマート神戸」とは

神戸の情報をまとめて確認できる WEB サイト「スマートこうべ」が、3月28日に誕生します。

<https://www.city.kobe.lg.jp/a05822/smartcity/smartkobe-campaign2203.html>

「スマートこうべ」は、神戸市からのお知らせ・イベント情報のほか、登録する家族情報や興味関心分野に合わせた情報をメール・お知らせ画面に届けてくれるシステムです。

三つの特徴（便利ポイント）があります。

① 役立つ情報をまとめて確認できる！（便利ポイント1）

市のお知らせ・地域ニュース・イベントなどの、神戸の情報が本サイトに集約！

② あなたにぴったりの情報が届く！（便利ポイント2）

あなたに合ったおすすめの情報がお知らせ画面やメールで届く！

③ 便利なマイサービ機能が使える！（便利ポイント3）

おでかけ情報や保育施設の空き状況など個人のニーズに合った情報が確認できる！

3.2.2.2. 自治会を支援する会・西須磨としてどのようにかわるか

自治会を支援する会・西須磨は、そのホームページから一日2件のペースで、西須磨地域でお住いの方の生活に役立つと思われる情報を発信しています。「スマートこうべ」と似た機能を持ちます。同時に、違っているところもあります。

① 基本方針と対象の違い

「スマートこうべ」は、「神戸市が発信したい情報を発信する」が基本になっていようです。一方、我々は、「住民が生活で必要とする、あるいは住民に有益な情報を提供する」が基本になっています。もちろん「スマートこうべ」も後者を意識するでしょうが、どこまで差を埋められるか。また、「スマートこうべ」は、神戸「市民」を対象にしているが、我々は、地域「住民」を対象にしています。

② プロ方かプッシュ型か

我々は「2021年度・2022年度活動に向けての企画検討書」において、「情報伝達をプル型からプッシュ型に拡大する」を掲げています。現在はプル型で「スマートこうべ」のようなプッシュ型を目指しています。

すなわち、自治会を支援する会・西須磨は、そのホームページにブログを書いて情報を伝えようとしていますが、そもそもこのページに見に来てもらわないと情報を伝えられません（プル型）。一方は、「スマートこうべ」は、「お知らせ画面やメールで届く」ようになっています（プッシュ型）。

③ 神戸市保有情報の提供

「保育施設の空き状況」などは、神戸市しか情報提供できません。

我々の取組み方針

① 「スマートこうべ」とのすみわけ

「保育施設の空き状況」のような神戸市保有情報は、お任せするしかありません。「スマートこうべ」の運用状況をみて、「スマートこうべ」では発信できない有用な情報は何かを見定め、「スマートこうべ」を補完する形で自治会を支援する会・西須磨のホームページからのブログ発信を継続します。

② プッシュ型を目指す

スマート神戸は、プッシュ型であり、我々もそれを目指します。

③ 情報発信のみではなく、リアルなつながり、リアルな活動までカバーする

「スマートこうべ」は、情報提供の域を越えられない。我々は、情報提供のみならず、リアルな世界まで対象を広げたいと思っています。

3.2.3. 神戸市の動き（その3）「地域 ICT 推進協議会（通称：COPLI）」

3.2.3.1. 「地域 ICT 推進協議会（通称：COPLI）」とは

地域 ICT 推進協議会は、ICT（情報通信技術）の利活用を通じて、地域の活性化を図ることを目的とした、神戸を中心とした市民・教育機関・企業と行政によるコンソーシアムです。「地域経済の活性化」や「地域及びそこに住む人たちへの貢献」を基本理念として活動しています。

<https://www.city.kobe.lg.jp/a05822/smartcity/copli.html>

3.2.3.2. 4つの活動

「将来構想」、「IT 地域連携」、「まちづくり推進」、「将来検討PJ」の4分野があり、このうち「まちづくり推進」が「CTを活用したより良い生活・まちづくりを市民目線で考え、市民・市役所双方への提言や実証実験など含め、今できることを具体性とスピード感

をもってプロジェクトとして実行していく委員会」と、もっとも近そうです。

3.2.3.3. 自治会を支援する会・西須磨としてどのようにかわるか

Facebook では、「地域 ICT 推進協議会 (COPLI)」が 2021 年 8 月 26 日、「COPLI アンダー 35 (地域 ICT 推進協議会)」が 2018 年 3 月 8 日を最後に記事が途絶えており「具体性とスピード感」は感じられません。

<https://www.facebook.com/copli.jp>

<https://www.facebook.com/COPLI.U35>

協議会のホームページの「活動紹介」を見ても、何も書いてありません。

<https://copli.jp/introduction/cityplanning/>

公開情報では、特に役立ちそうな記事は、ありませんでした。特に注目する必要はなさそうです。

3.2.4. 神戸市の動き (その 4) ご近所 SNS 掲示板「マチマチ」

3.2.4.1. ご近所 SNS 掲示板「マチマチ」とは

「マチマチ」は、ご近所さんとまちの子育てやオススメのお店・病院などについて情報交換ができるご近所限定のオンライン掲示板です。「ひらかれた、つながりのある地域社会をつくる」というミッションのもと株式会社マチマチが開発・運営しています。

すなわち、神戸市が直接実施しているのではなく、「マチマチの活用が進むことで、地域内での人と人とのつながりが生まれることを期待して、神戸市と株式会社マチマチは協定を締結」したものです。

狙いとしては、「利用範囲はご近所に限定：近所の半径 1km から 10km 以内に住んでいるユーザー同士がご近所さんとしてコミュニケーションをとれる仕組み」であり、発想は良いと思います。

3.2.4.2. 自治会を支援する会・西須磨としてどのようにかわるか

「近所の人とのつきあいが減ってきている今、なかなか情報が得られない。そんな悩みを解決する SNS だよ。」と書いてあるけれど、実際に登録しても、あまり役立ちそうにありません。利用者が少ないからかも知れません。利用者が一気に増えるアイデアがない限り、同じようなものを作っても、あまり意味はなさそうです。

4. 情報伝達をプル型からプッシュ型に拡大する

これは、大きな課題です。解決の方向としては、ノーコードでのスマホアプリの開発が考えられます。ただ、これでできるかどうかは、未確認です。

来期にこのテーマを改めて取り上げる予定です。

以上